

図友連シンポジウム

公共図書館はどう伝えられているか

～新聞ジャーナリズムと市民～

新聞ジャーナリズム、あるいはマスコミは、公共図書館をどのように認識し、伝えてきたのか。新聞記者は、どのような視点で、図書館の何を伝えようとしているのか。記者の声、そして市民が期待する報道とはどのようなものかを考えます。

日時

2023年 5月29日(月)

11:00～13:00

開場 10:30

会場

日本図書館協会 2階 研修室

東京都中央区新川 1-11-14

プログラム

- ・基調講演 藤生 京子氏(朝日新聞文化部 記者)
- ・パネルディスカッション
藤生 京子氏
蓑田 明子氏(元東大和市立図書館 司書)
阿曾 千代子氏(図書館友の会全国連絡会 代表)
- ・モデレーター 嶋田 学氏(京都橘大学)

●藤生 京子氏 (朝日新聞文化部 記者)

1965年、群馬県生まれ。徳島、京都支局、大阪本社を経て東京本社学芸部(現・文化部)。主に論壇の周辺を取材し、AERA、be、オピニオン編集部、論説委員室なども歴任。現在は鷺田清一さん「折々のことば」欄を担当。社説「公立図書館 開かれた『知の宝庫』に」、「時代の葉」欄で前川恒雄著「移動図書館ひまわり号」、文化面で「図書館活写、民主主義の姿重ね 漆原宏さん」などを執筆した。

●参加費 無料

●参加定員 日本図書館協会会場 80名 Zoom(視聴のみ) 80名

●申込方法 ①氏名 ②図友連会員(個人・団体名)・非会員 ③会場参加・Zoom 視聴

④問い合わせ電話番号 を明記の上、下記メールアドレスまで

*申込先・問合せ：entry-for@totomoren.net *申込締切 5月26日まで